

名古屋

石田学園報

第14号 2003.8.15

星城大 学校
星城高 等学 校
星城中 学学 校
星の城 幼稚 園
名英予 備校
名英図 書出 版協
法 人 本 部

名古屋石田学園 第二建学宣言

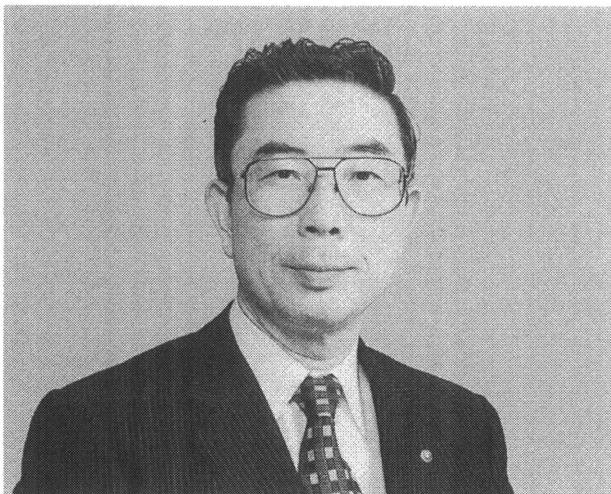
(教育新生プラン)

理事長・学園長 石田正城

名古屋石田学園は2001年、創立60周年(還暦)を迎えました。そして、創立者石田鑑徳先生の夢、念願でありました星城大学設置の認可を文部科学省よりいただき、いよいよ総合学園としてスタートいたしました。

2006年には、創立65周年をむかえます。折りしも創立者石田鑑徳先生の生誕100年に当たります。学園はこの節目を「第二の建学」と位置づけ、原点に立ち戻って、学園の設立理念、教育理念を再構築することにいたしました。そして、2011年、創立70周年には、その雄姿を確かなものにいたします。

石田学園の建学の精神は、創立者石田鑑徳先生によって示された「報謝の至誠」「文化の創造」「世界観の確立」の三つであります。この教示の理念を「礼節・感謝」「自修的努力」「社会貢献」と読み替えスローガンとして、全学園あげ、あらゆる側面から具体的に改革を進めてまいります。



創立者 石田鑑徳先生
石田か寿子 理事

21世紀の教育は期待される高いレベルの教育実践と志の高い生徒・学生の育成にあり、社会の期待、要請に応えていくことです。本学園もこの国民の負託に応えるために最大限の努力をしております。

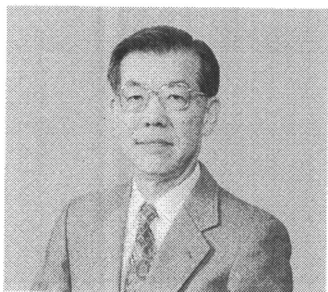
星城大学では高等教育研究所で教員の研修・研鑽に努める制度(ファカルティ ディベロプメント)を設け、教育に責任を持つ大学を目指しています。高校では再開発のための研究をし、ハード面、ソフト面の充実を図ります。学園本部では、リハビリ専門学校を開校し時代のニーズに応えます。これらの事業は、第二建学にとって基盤となるものです。

また、教職員の意識改革と切磋琢磨は欠かせません。これには、教職員自身に痛みが伴います。即ち個々の職員の正当かつ厳格な評価をする体制を確立する必要があります。そして、適材、適所に人材を配置して、教育成果を挙げなければなりません。

外部の学園関係者には新生、石田学園に是非ともご注目いただくと共に、絶大なるご支援を賜りますようお願いいたします。

星城大学 「学長就任に当って」

星城大学長
伊藤雄而



少子・高齢化社会の爛熟期を迎えた戦後 58 年目の日本社会の中、そして 2001 年 9 月 11 日の米国同時多発テロを転機とした不透明な 21 世紀の世界情勢の中にあつて、我国の高等教育の世界もまた激動のさなかにあります。来年度からは国立大学法人化がスタートし、多くの国公立大学はその教育的、財政的基盤において、私学と競合する状況になり、また、最新のニュースでは従来の大検を見直し、高校中退や外国人高等学校卒業生に対しても大学入試への門戸を開くよう国家政策を転換するとのことです。今日の私大教育とその経営に当っては、こうした状況の変化に迅速に対応することが求められていることはもとよりですが、同時に私は開学間もない本学において、それ以上に重要なことは、星城大学の持つ理念を堅持して、本学の特徴を確立し、それらを基礎に本学を取巻く地域へのアピールを定着させ、10 年、20 年後の、本学の発展の基盤を出来るだけ早く確立させることにあつてお考えます。

既に開学当初から、関係各位のご努力の結果、リハの星城大学というイメージはそれなりに定着して来ており、優秀な学生の確保が行われつつ、先ずは一期生が全員国家試験にパスする体制が敷かれています。しかし言うまでも無く本学の経営基盤を支えるには、経営学部の充実と発展が欠かせません。具体的には本学の経営学部が近隣に多く存在する他の私大の経営学部と何処がどのように異なるか、その特色を鮮明に打ち出すことが必要です。

1 つは本学が全体として取り組んでいる最先端 IT 技術による e-University であり、これは現在「特色ある大学支援プログラム」への応募を通して全国的にアピールしているところであり、1 つは開学時に定道前学長と赤岡京大教授によって構想されたユニークな実務・実践型のカリキュラム編成で、目下南川経営学部長を中心に鋭意その実行に取り組んでいる所ですが、その成否は経営学部の将来に重大な意味をもっています。更にもう 1 つ、本学の特徴であるリハ、経営両学部の枠を超えたクロスカルチャーの精神を具現する試

みとして、来年度より経営学部の中に医療経営とスポーツ経営の 2 コースを新設することが決まりました。これは今村事務局長の先見性と実行力、そして石田学園の全面的協力が有つて初めて実現したことで、これらは上記の実務・実践型教育と相まって本学経営学部の特色となつて行くことを期待しています。

本学では開学当初より、中国、韓国等海外の留学生を積極的に受け入れています。今後はこれら海外の高校とより密接な関係を作り、優秀な留学生の確保を、そしてまた近い将来には海外の大学との国際交流を積極的に推進して、大学間での留学生交換をも実現させて行きたいと考えます。

現在こうした留学生の受け入れ体制は、はなはだ不十分であると言わざるを得ません。その意味では、学生休憩室、食堂や図書館の席数、部活動の設備、また 1 学年全員が入れるような大教室等、インフラの整備もこれからの問題です。それは全ての組織について言える事ですが、ある組織が発展するか衰退するかは、全てその組織の構成員 1 人 1 人の意識にかかっていると云つても過言ではありません。特に大学においては、教員の能力と意識が最も問われる所です。その意味から星城大学において教員各自が専門能力をより高め、より優れた教育に専念出来る環境作りも大切です。具体的には特に若い教員の研究や発表への支援、研究会開催や国際交流などが挙げられます。

開学後 1 年 4 ヶ月、本学もまた時代の奔流の中、激流の真っ只中にあります。この激動の時代を乗り越えて、本学の学歌にあるように、星城大学に誉れと光輝をもたらすことが私に課せられた責務と心得ます。本学教職員と石田学園の皆様のご協力を切に願う次第です。



星城大学3号館(リハビリテーション学部棟)

星城高等学校 「自己点検・評価の公表」

星城高等学校副校長
織田 晃



昨年度の学校週5日制の完全実施に引き続いて、今年度から高等学校においても学年進行の形で新学習指導要領への移行が始まり、小中学生の学力低下問題や絶対評価の導入など様々な課題を抱えつつも新たな改革の時代を迎えています。この改革の流れの中で、アカウンタビリティ（教育の結果に対する責任、学校の説明責任）を重視する方向が強調されつつあることに注目する必要があります。

アカウンタビリティ政策については、既にいくつかの国において実施されています。例えばイギリスでは、日常の教育実施については各学校の自主的な取組に委ねられていますが、到達目標については全国共通カリキュラムによる共通の到達目標が定められ、全国テストの結果が公表され、成績低下など学校運営に大きな問題がある場合には閉校措置を含む様々な措置が取られています。アメリカにおいても同じような政策がとられています。

我が国においても、初等中等教育における学校の説明責任を問う動きは、平成8年の中央教育審議会答申（開かれた学校）、平成10年の中央教育審議会（地域住民の学校運営への参画）を経て平成12年の教育改革国民会議報告（地域の信頼に応える学校づくりを進める）で内容が固まり、平成14年3月の高等学校設置基準の改正により、自己点検・評価とその結果の公表が努力義務化され、平成15年4月から同基準が全面実施されました。大学における自己点検・評価については、平成3年の大学審議会答申で努力義務の方向が示され、平成10年には義務として位置付けることが必要という答申に基づいて実施に移されており、いずれ高等学校等においても義務化されることが予測されます。

自己点検・評価及びその結果の公表に関する具体的な実施方法等については、各学校や教育委員会の判断に委ねられているため、公立高校においても都道府県別に見ると、平成14年度から平成16年度に

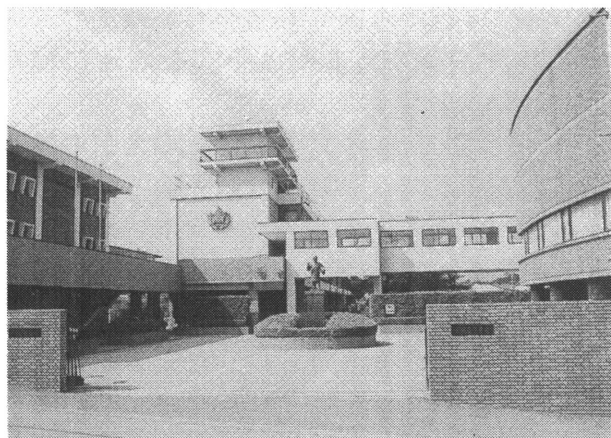
かけて数校の文部科学省指定の実施校による試行中の県もあれば、東京都のように全校実施に加えて点検評価の一環として生徒による授業評価の導入を決定しているところもあります。

今回の設置基準の改正の趣旨は、学校運営の状況について自己評価を行い、その結果を含めて保護者や地域住民に学校の情報を積極的に提供し、それを通して学校としての説明責任を果たしていくことにあります。自己評価ということについては、どこの学校においても学校評価や年度末反省という形で行われていたことであり、問題はどのような方法で情報を提供していくかということです。

星城高校における自己点検・評価は長い実績があり、この数年間は学校経営要項に、前年度の基本方針をはじめ分掌、教科、学年、行事毎に年間を総括した点検評価の結果を掲載していますが、何を、どのような方法で公表していくかについては、改めて検討する必要があります。

礼節・スポーツ・進学・国際交流の星城として、その具現化のために教職員が生徒の指導にどれだけ心血を注いでいるか。現状を積極的に情報として提供していくことで高い評価を得ることは間違いありませんが、創立40周年も過ぎ、高校エリア全体の再開発や中高一貫教育を改めてスタートさせようとしている今、それに見合った教育実践が当然のこととして求められます。

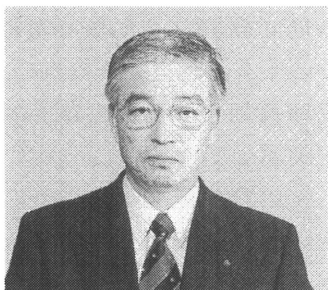
保護者等の信頼を得るためには、教員一人一人が気概を持って積極的に学習指導や生徒指導の実践や改善に努めるとともに、学校運営に参画することが何よりも大切なことと言えます。



星城高等学校正門

星城中学 「改革への抱負」

星城中学校長
谷 裕 雄



この度、名古屋石田学園・星城中学校校長を拝命し、心も新たに校長の職務を積極的かつ創造的に専念し、子供たちのためになる星城中学校を、全ての教職員とともに創り出していきたいと考えております。

今や、IT革命という言葉が象徴するように、世の中は大きな転換期を迎えています。この波は教育界においても例外ではなく、学校が問われており、その変革が求められております。

公立小・中学校では、これまで経験したことのない、いじめを始め、不登校や校内暴力等の生徒指導に関する問題。児童・生徒の学力低下に関する心配など、深刻な事態に直面し、それに対応すべき課題が山積しています。その対応の一つとして、「生きる力」をキーワードとする学習指導要領が今次改訂され、そして、小・中学校では、新たに創設した「総合的な学習」を取り入れた特色のある教育課程の編成による教育実践が、平成14年度から全面实施となっています。

ところが、今回の改訂をめぐるのは、必須教科の授業時数の縮減や指導内容の厳選等による理由から、学力低下を心配する議論がなされ、この議論は、深刻に受けとめる保護者のあいだには、公立学校から国立大学や有名難関私立大学への進学に関する心配と不安を急速に抱かせることになりました。

さて、学校創立11年目の節目を迎えた本校を取巻く状況は、公立中学校の特色ある学校づくりを始め、企業による中学校の新設、男子校から男女共学校への変更など、改革の波が押し寄せ、一層厳しくなっており、本校が厳しい競争の中で更に発展するためには、今までの実践を評価し、変えてはいけぬものと、変えるべきものを見極め、改革を推進し、特色ある学

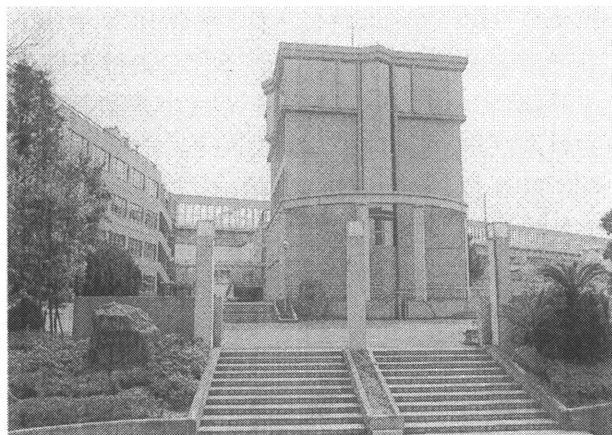
校として一層の充実と存在感のアップが急務であると考えております。

そこで、これまで関係各位からいただいた温かいご支援とご指導とを糧にして、大きく学校改革の第一歩を踏み出すことといたしました。具体的には、星城中学校と星城高等学校仰星コースを一体化して、6年間にわたって本校独自の教育課程による一貫教育を実践し、質的により高度な学力と、より豊で逞しい人間性を培う教育実践に着手いたします。こうすることによって、よりレベルの高い進学校としての、実績を生み出していきたいと考えております。

特に、医学・薬学・歯学・リハビリテーション学の各学部進学については、これまでの実績に、さらに厚みのある実績を上乗せして、本校の特徴をより鮮明に創り出す所存です。

この改革の主な基本的な方針として、一つ目は、校務分掌の組織を従前と改め、中学校と高等学校の組織を一本化します。そして、相互理解と円滑な運営を推進することで教育の効率化を図るとともに、リーダーシップの育成に努めます。二つ目は、教育目標の具体化に努めるとともに、現在の諸行事を見直し、特色ある教育課程を創造します。三つ目は、授業の改善を図り、授業研究を推進し、教師の力量と資質の向上を図ります。四つ目は、募集方法や説明会の内容及び地域等の募集活動や後援会組織と連携を図り、募集活動を強化します。

以上、改革への抱負とその取り組みの主な基本方針を述べ、その職責を果たしたいと思いません。



星城中学校正門

改革推進室長
石田英城



本年、本部に新たに改革推進室が設けられました。これは従来の企画室と教学会議の役割を担うとともに、学園全体の将来計画について、中学・高校・大学をはじめ各部門が、市場原理による競争の中でどう生き残り、また成長していくかの大きな岐路にある時に、中・長期計画の策定をし、学園の発展につなげていくための組織であります。

I. 中・長期計画「魅力再構築」策定について

今、まさに学校の存続と発展をかけた「教育改革」の大きな波が押し寄せてきています。この改革の動きを受け入れ、対応できる意識改革と行動がなされない限り、取り残されてしまいます。学校を取り巻く環境をしっかりと把握し、変わるべき行動基準として、保護者・生徒の価値基準に立ち、学校の施策を考えていく必要があります。「建学の精神」を踏まえ、競争時代を勝ち抜いていくビジョンを明確にし、学内で共有し、市場へアピールしていくことが不可欠です。

1) 「環境の変化、学校の競争」

国際化・情報化→規制緩和・競争激化←少子化
中央教育審議会の答申（1996）では、「これからの社会は、国際化・情報化・科学技術の発展などが一層進展。変化する激しい世の中の変化」に対応する教育の在り方として「不易」と「流行」の二面いずれも勘案して改革を進めなければならないとまとめています。また教育改革国民会議や大学を起点とする構造改革の一環として、具体的なプランが提示されていることはご存知のことと思います。

2) 「組織の体質変化と、その構成要素である教職員の意識改革」

少子化をきっかけに、幼稚園から大学院まで「市場原理による競争」が始まっています。

私学における顧客は授業料を払ってくれる保護者、生徒になります。そしてその選択の基準は、常に相対的評価にあります。A校・B校を比較してどちらが自分にとって魅力的な学校なのかという判断になります。「生徒が集まらない学校」は、「他校と比較して魅力に劣る」という市場の判断が下されているということになります。

3) 「学校としての成果目標」

入学してから卒業するまでの3・4・6年間で、どれだけの付加価値を学生・生徒・保護者に身につけさせることができたのか。学校はどのような教育をし、どのような人材として社会に送り出すのかを明確に説明する責任があります。

中・長期計画策定についての要素として、上記を上げましたが、あるべき姿と現状を具体的に描き、そのギャップを教職員全員が正確に認識することから、改革が始まります。

II. 報告

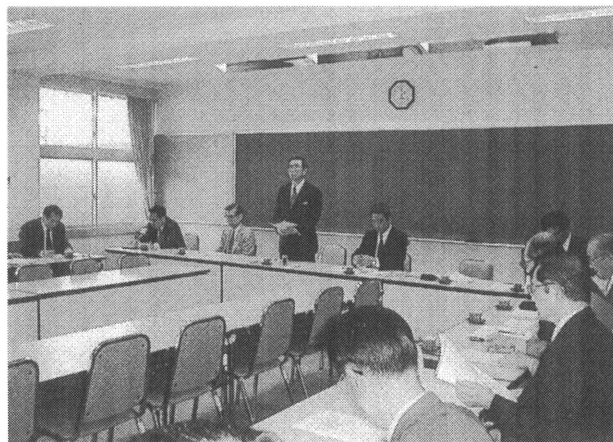
1) 学園連携会議開催（5月28日）

- ① 15年度方針と現状報告（自己点検・自己評価）
- ② 募集広報方針（定員の確保にむけて）
- ③ 各部門の中期計画策定について

各部門それぞれの情報の共有を図る中で、協力体制を確立していきたいと考えております。

2) 中学・高校エリア再開発プロジェクトについて

2011委員会の報告を踏まえ、現在、学校全体のランドデザインを設計会社に依頼中です。16年度中に1期工事に着工できる予定で進めております。



星城大学金子教授 日本学術会員に選出

本学リハビリテーション学部 教授 金子章道氏が、7月22日付で第19期日本学術会議の会員に選出されました。



日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという確信に立って、昭和23年科学者の総意の下に、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学界と提携して学術の進歩に寄与することを使命として設立され、わが国の科学者の内外に対する代表機関として、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させることを目的としており、職務としては、日本の科学に関する研究の連絡を図り、その能率を向上させることを主としています。全国の研究者にとって学術会議会員は、文学から医学に至る学問各領域を代表する重要な職であり、全国から210名の会員が選出されております。

～現況報告～

星城大学

教員任期5年制など、全国初の試みを導入し、昨年4月開学した星城大学も2年目を迎え、「学生が中心」を単なるスローガンにせず、絶えず改善を繰り返す授業システムを通じ、学生や教職員一人一人の顔が見える大学としての『人づくり大学』の創成に努めております。

今後の方針として、さらに変化する社会の要請一国際化・高度情報化・高齢化・少子化などに即応できる『総合的な人材』の育成に努め、日本の将来を担うに足る、『バランスの取れた社会人』を未来永劫に送り出すことが出来るよう、全教職員が真剣且つ全力をもってその達成に向け努力していくものです。

こういった姿勢が早くも社会に認知され、星城大学に対する期待は大きく高まりつつあり、すでに4年後の求人が舞い込む状況です。

～現況報告～

星城高等学校

創立40周年を節目とし、学校基本方針のもとさらなる発展に向け、教職員一丸となっております。

1. 創立40周年をひとつの結節点として、新たなる決意のもとに本校教育の充実と質的向上をはかる。
2. 建学の精神を全面に据え、これを支持し賛同する教職員とともに、時代の要請に的確に対応し、保護者・生徒の信頼に応えうる教育活動を展開する。
3. 授業改善を中心とした教職員の意識改革をすすめ、授業の点検・評価、指導・助言を積極的に行い、教科指導力の向上と経営要項・シラバスの完全実施を目指す。
4. 教職員相互の切磋琢磨と積極的な意欲を高め、具体的な方針の下に学園間の連携を意識した学校運営を構築する。

5. 次代を担う教職員の育成を意欲的にすすめる。その中心となる主任・副主任層の意識と力量を高め、学校活性化のエネルギーとする。
6. 地域連携の意識をし、生徒たちの積極的な活動を促し、体験的学習の充実と地域社会に愛され信頼される学校づくりをめざす。

【2学期の主な行事】

- | | | |
|-----|-----|-----------------|
| 9月 | 7日 | 同窓会総会（於 中日パレス） |
| 9月 | 17日 | ～19日（木）学園祭・体育祭 |
| 11月 | 3日 | 英語弁論大会（於 石田記念館） |
| 11月 | 15日 | 創立記念式典 |
| 11月 | 17日 | ～20日（木）修学旅行九州方面 |
| 12月 | 22日 | 明德忌献花式（創立者顕彰） |

～現況報告～

星城中学校

創立10周年の節目を終え、新たな気持ちで教職員が一致して本校の特色を生かし、教育目標の具現化に努めております。特に、星城高等学校仰星コースとの中高一貫教育の推進を最重要課題として、6年間にわたる独自の教育課程により、一層レベルの高い進学校としての実績を生み出していこうと考えております。そして、医学・薬学・歯学・リハビリテーション学の各学部進学については、これまでの実績にさらに厚みのある実績を上乗せして、本校の特徴をより鮮明に創り出す所存です。大きく学校改革の第一歩を踏み出し、より密度の濃い指導を実践し、質的により高度な学力と、より豊かな人間性を培う教育実践に向けて着手しております。

【2学期の主な行事】

- | | | |
|-----|-----|-------------------|
| 9月 | 20日 | 21日（日）第11回感謝祭 |
| 10月 | 4日 | 体育祭 |
| 10月 | 7日 | ～18日（土）第3学年海外語学研修 |
| 12月 | 24日 | ～27日（土）冬期補習 |

～現況報告～

星の城幼稚園

核家族化・少子化傾向の中で、子育てを負担に感じ、また子育てに不安を持ち、子どもと共に育つという側面に気が付かない親が増えています。幼稚園は、その意味で「家庭の在り方や、子どものしつけ」について親を啓発する立場と、幼児の生活を充実させるには何が大切かをともに考えていく立場と両方あります。幼稚園の行事に参加していただき、保護者が「観る・聞く」から「参加し・話す」方へとなるよう良い連携（母の会とも）がとれるように努めていきます。

【園児募集】

9月1日 願書配付

10月1日 願書受付

10月4日 検定

【2学期の主な行事】

10月19日 運動会

11月29日 作品展

12月20日 音楽会

〃 終業式

～現況報告～

名英予備校

名英予備校ではここ数年、いわゆる予備校業務のほかに、高等学校の補習とオープンカレッジの運営を中心に業務展開しています。

今年度の予備校は夜間部医療コースのみを開講、人数は少ないが密度の濃い授業を進めています。高校補習関係は、星城高校特別進学講座（土曜日実施）を中心に、本学園以外の高校においても進学補習も実施し、約500名の生徒の参加を得ています。

星城大学オープンカレッジについては、名古屋明德短大時代よりその運営に携わり、東海市（星城大学）と伏見（本部・予備校）の2会場において、年間で約300講座を開講しています。受講者は年間約3,000名、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の人々が学んでいます。今後も地域の人々に親しまれ、地域に貢献できる講座の運営に鋭意努力を続けるつもりです。また、星城大学の学生に対しても、資格取得・就職支援の講座を提供しています。

～現況報告～

名英図書出版協会

最先端のeラーニングがウリの星城大学。事業部も時代に乗遅れまいと、大学が今年度より取り組んだ星城大学出版電子テキスト（e-text）制作業務に参画しております。

大学の常勤教員が執筆した30種類以上の教

科書原稿を、統一フォームで整備したのちPDFファイルに変換します。そのファイルを大学サーバーに移せば、学生たちが自由に自分たちのノートパソコンでダウンロードできるようになるわけです。必要に応じて印刷もできます。一番のメリットはなんとと言っても学生たちの教科書代負担の大幅減（対前年比約6分の1以下）です。「学生を大事にする」がキャッチフレーズの星城大学に、事業部として少しばかり貢献できていると思っています。

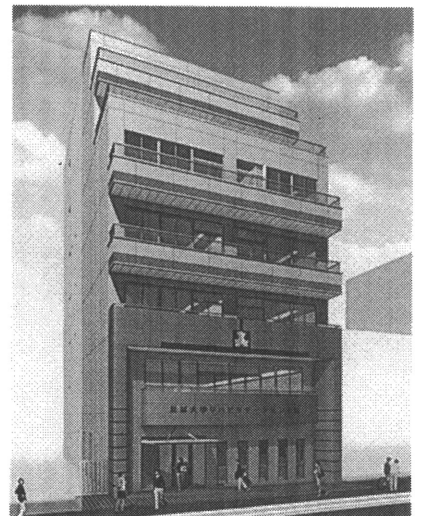
現在はすべての星城大学出版電子テキストが「学内限り」で使用されています。まだ全ての教科書が出揃っていないからです。学外に向けては3年後。現行のデジタル方式に加えて書籍（オンデマンド印刷）としても発行する予定です。

～現況報告～

法人本部

平成16年4月名古屋・伏見での開校を目指し、専修学校（専門課程・医療分野）の設置準備をしております。名称を星城大学リハビリテーション学院とし、理学療法学科第一部（昼間）3年制課程・第二部（夜間）4年制課程の各定員40名でスタートいたします。教育理念として人間性（humanity）・個性（identity）・技能（technical skill）を高め、社会貢献できる人材育成を教育目標としてまいります。学校設置の特色は、愛知県下の理学療法士養成校として2校目となる、昼間就労する社会人をも視野に入れた夜間部設置、さらに他に類をみない名古屋の中心地での学修と大学教育と連携が図れることです。

この学校設置にて、愛知県で年間約550名の理学療法士が養成されることになり、名古屋石田学園は養成施設のリーダー的存在ともなりうる2割以上の養成責務を果たします。このことにより地域からは超高齢化社会への貢献は基より、保健・医療・福祉・教育・スポーツ分野などの多方面で活躍する「人づくり」の期待がより高まることとなるでしょう。



星城大学リハビリテーション学院
（平成16年3月完成）

2002年度 決算の概要

2002年度の決算が確定しましたのでその内容をご報告させていただきます。

資金収支計算書:当該会計年度の資金の動きを明らかにしたもので、教育研究活動及びその活動に付随するすべての収入支出の内容が記載され、消費収支計算書にはない前受金収入や施設・設備関係の支出等が計上されている。

消費収支計算書:帰属収入から基本金組み入れ額を控除し残りを『消費収入』として、人件費、教育研究経費、管理経費など当年度で消費する『消費支出』と対比させ、その均衡の状況や内容により、経営状況を示したものの。

資金収支計算書

<収入の部>	
学生生徒納付金収入	1,672,287
補助金収入	992,282
前受金収入	609,296
事業収入	165,293
手数料収入	136,090
寄付金収入	58,681
その他の収入	1,376,659
前年度繰越支払資金	1,108,887
収入の部合計	6,119,476
<支出の部>	
人件費支出	2,030,859
教育研究経費支出	393,423
管理経費支出	335,495
設備関係支出	98,350
施設関係支出	39,161
その他の支出	1,721,919
次年度繰越支払資金	1,500,269
支出の部合計	6,119,476

消費収支計算書

<消費収入の部>	
学生生徒納付金	1,672,287
補助金	992,282
事業収入	165,293
手数料	136,090
寄付金	71,496
その他	86,604
帰属収入	3,124,052
基本金組入額合計	-154,495
消費収入の部合計	2,969,557
<消費支出の部>	
人件費	2,047,617
教育研究経費	695,103
管理経費	346,743
その他	42,580
消費支出の部合計	3,132,042
当年度消費収入超過額	-162,485

貸借対照表

<資産の部>	
固定資産	15,589,299
流動資産	2,998,761
合計	18,588,060
<負債・基本金・消費収支差額の部>	
固定負債	1,402,859
流動負債	1,966,962
基本金の部合計	12,657,764
消費収支差額	2,560,476
合計	18,588,060

(単位:千円)

平成14年度 寄附協力者御芳名

このたびは賛助にご協力いただき、誠に有り難うございます。ご芳志に厚く感謝いたします。この賛助金は、学園が運営する星城大学・星城高等学校・星城中学校・星の城幼稚園等の教育水準の向上、充実した教育環境づくりのために活用させていただいております。何卒、今後とも皆様方のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

この協力者御芳名は、平成14年4月11日より平成15年3月31日までに寄附のお申し込みをいただいた方を掲載いたしました。

【寄付金合計額】7,687,000円

◎個人 (順不同・敬称略)

青木 良雄	井上 光夫	尾上 和博	黒田 好彦	佐藤 志帆	竹内 一弘	野々垣 功	藤澤 悠子	八木 富治
秋田 一男	今村 裕	小原 功士	黒柳 義輝	佐藤 雅生	武田 公樹	野々山邦博	藤田多佳緒	屋久比 宏
秋山 和子	井元 雅昭	尾本 久雄	桑名 正也	佐野 重治	多田 郁朗	信長 章夫	藤田 治徳	安田 好孝
浅井サカエ	植松 佳江	寛 龍己	小池 幸文	佐原 武夫	多田藤兵衛	長谷川なおみ	藤原 一也	谷内 良長
朝井眞壽三	遠藤 喜久	加古 尊志	小泉 隆嗣	澤 雄生	辰巳 芝裕	肌附 利兼	古澤 順正	山内 靖雄
浅井 元之	王 秀蘭	甲木 有二	河野 雅晴	澤田 英紀	田中 元二	畠中 公夫	保科 健	山口 浩彦
阿部 博	大嶋 晋平	勝見 章夫	高村 道則	清水喜久雄	田邊 正己	畑中 圭一	堀田 澄雄	山田 一彦
天野 博	太田 和典	加藤己才武	國生 寛幸	清水 茂邦	田原 健二	濱島 玲	間瀬 正広	山田 和久
荒井 英利	太田 秀志	加藤 透	小島 久尚	清水 満	玉野 善教	浜島美和子	松井 昭	山田 善一
荒本 隆	大田 秀幸	加藤 敏郎	小林 裕	白木登志子	都築 良輔	浜田 公也	松井 篤	山田 知之
有海 正幸	大谷 由幸	加藤 秀男	小山 涉	城崎 勝利	寺沢 久能	浜本 幸男	松瀬 博見	山田 久直
粟野 春之	大野 豊久	加藤 房光	近藤 光輝	菅原 一剛	土井 睿	早川 昌男	松瀬 博見	山田 昌生
安藤志貴男	大野 正人	加藤 雅邦	近藤 重夫	杉浦 成人	戸田 道代	林 栄市	三浦 高裕	山本 昌生
安藤 一	大橋 隆幸	加藤 幹也	近藤 達雄	杉浦 文雄	富井スエオ	林 尚志	水谷 公治	山本 守
安野 泰史	大橋 利明	神尾 淳	近藤 俊夫	杉江 一彦	富田喜美夫	早瀬 孝文	水野 眞	横田 雅澄
安部 茂	大畑 安弘	神谷 克敏	近藤 正次	鈴木 克己	鳥居 勇二	原 まゆみ	三橋 幸浩	米倉 鎌孝
飯田 敬一	岡 栄二	神谷 耕三	近藤 泰弘	鈴木 清詞	長坂 正良	原田 幹生	壬生 剛	米永 将志
家田 稔	岡田 和夫	河合 猛	近藤 幸則	鈴木 武夫	中里 實	原田 道治	美馬 敏之	若山 義一
池田 一夫	岡田 圭司	川口 誉夫	近藤 幸則	鈴木 武夫	中島 悟	半谷 宏規	宮崎 正雄	渡部 薫
伊佐 秋人	岡田 規雄	川崎 雄一	近藤 幸則	鈴木 武夫	中島 慎一郎	平子 和海	宮嶋 忍	好ヤ マミ
石谷 雄二	岡村 鉦	神戸 文雄	近藤 幸則	鈴木 武夫	永田 憲一	広里 元英	宮本 武志	材野 ブシ
石川 浩司	小川 清志	神間 康	近藤 幸則	鈴木 武夫	中田 浩司	深津 直彦	宮本 武志	材野 シン
石田 和也	沖田 清	北川 修	近藤 幸則	鈴木 武夫	中溝 齊	深谷 健吾	三輪 康夫	材野 ヲヲ
磯貝 重光	沖田 俊清	鬼頭 和彦	近藤 幸則	鈴木 武夫	中村 保夫	深谷 信彦	村上 克彦	スギ ブク
伊藤 克己	奥田 洋	木納 潤一	近藤 幸則	鈴木 武夫	成田 輝彦	深谷 弘美	村上 吉康	スギ ブク
伊藤 繁	小栗 次一	木村 睦邦	近藤 幸則	鈴木 武夫	西澤 規子	深谷 文雄	村田 吉啓	スギ ブク
伊藤 慎平	尾崎 勝久	日下 二郎	近藤 幸則	鈴木 武夫	西島 豊	福井 勝彦	本藤 毅夫	スギ ブク
稲吉 義晴	長田 和己	工藤 清	近藤 幸則	鈴木 武夫	二瓶 玉生	福田 進也	森 久	スギ ブク
稲熊 大城	押田 雅仁	久保田利政	近藤 幸則	鈴木 武夫	野口 和繁	福谷 智満	森 正信	スギ ブク
井上 真二	尾西 勇二	久米 由宏	近藤 幸則	鈴木 武夫	野田 明	藤倉 泰男	森代 時雄	スギ ブク